

芸術の秋 慶應義塾のミュージアム 秋の展覧会

慶應義塾大学アート・センター

Artist Voice III: 駒井哲郎 線を刻み、線に遊ぶ

小さな展示室1室という施設の特性を生かして、作家のつぶやきや生の声を感じ取れるような展示を目指す「Artist Voice」シリーズ展の第3回として、駒井哲郎（1920～1976）を取り上げます。駒井は普通部在学中にエッチングに出会いました。本展覧会では、慶應義塾の所蔵品より、版画作品のほか、駒井が義塾の機関誌『三田評論』『塾』に提供した挿図原画や駒井哲郎関連資料を展示します。思索を重ね、線を刻んだ硬質な版画作品に対し、ペンや筆によるのびやかなスケッチからは、作家の解放的で遊び心のある一面を垣間見ることができます。

作家の線の軌跡をたどりながら、インクと紙が織り成す詩情とユーモア漂う世界をご堪能ください。



会期 2023年10月10日(火)～2024年1月26日(金)
[土日・祝は休館] 11:00～18:00
特別開館 10月14日(土)
臨時休館 10月16日(月)、12月28日(木)～
2024年1月10日(水)

会場 慶應義塾大学アート・センター
(三田キャンパス南別館1階アート・スペース)

詳細 [URL](http://www.art-c.keio.ac.jp/news-events/event-archive/artist-voice03/) <http://www.art-c.keio.ac.jp/news-events/event-archive/artist-voice03/>

問合せ先 慶應義塾大学アート・センター
電話：03-5427-1621
E-mail：ac-tenji@adst.keio.ac.jp



KeMCo

常盤山文庫×慶應義塾 臥遊^{が ゆう} —時空をかける禅のまなざし—

常盤山文庫は、1943年に実業家菅原通済がその母体を築いたコレクションで、その一部が慶應義塾に寄託されています。慶應義塾ミュージアム・commons (KeMCo) では、常盤山文庫創立80周年を記念し、その名品と、慶應義塾の収蔵品より、禅の美術を紹介する展覧会を開催します。

禅の美術を代表する水墨画の、墨や淡彩のみを用い、余白を生かした表現は、時に、ともにしたためられた画賛（詩）とあわせて、時間や空間を越えた景色や世界を生み出します。室中にありながら、描かれた山水の世界に入り込み、自在に想像をめぐらせて時空を越えていく——本展は、そんな「臥遊」の境地を体験し、楽しむ展覧会です。



会期 2023年10月2日(月)～12月1日(金)
[土日・祝は休館] 11:00～18:00
特別開館 10月14日(土)、11月25日(土)
臨時休館 10月16日(月)、11月20日(月)

会場 慶應義塾ミュージアム・commons
(三田キャンパス 東別館)

詳細 [URL](https://kemco.keio.ac.jp/all-post/20230707/) <https://kemco.keio.ac.jp/all-post/20230707/>

問合せ先 慶應義塾ミュージアム・commons
電話：03-5427-2021
E-mail：hello@kemco.keio.ac.jp

